

R&U使用調査アンケート集計報告（2011年）



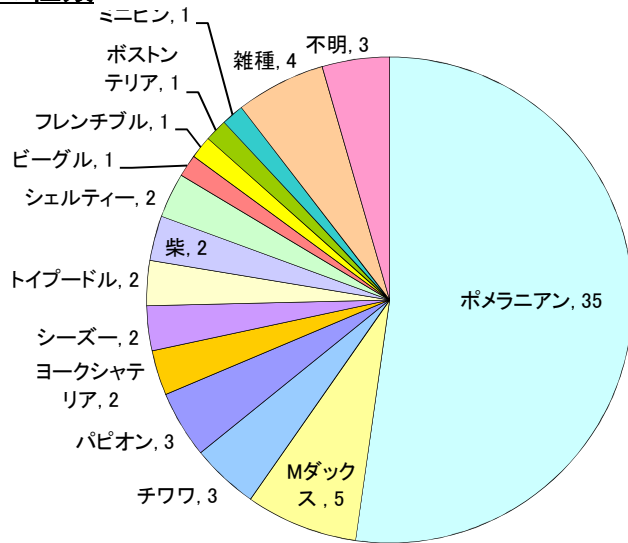
【アンケート期間】 2010年6月～2011年1月
 【対象】 全国の動物病院
 【項目】 [動物の種類]・[品種]・[年齢]・[使用目的(症状)]・[使用期間]・[併用薬の有無]・[結果(5段階)]
 【回収数】 70症例

症例内訳

動物の種類別頭数

犬 67
 フェレット 2
 猫 1

犬の種類

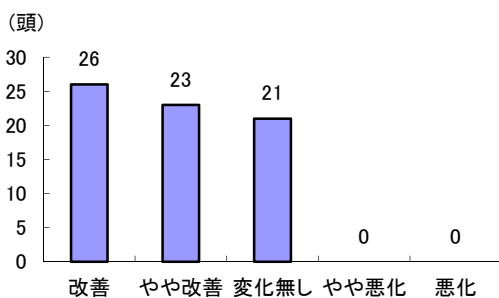


目的別頭数(複数回答含む)

発毛育毛 67
 炎症緩和補助 5
 免疫強化 3

効果判定 (改善・やや改善・変化無し・やや悪化・悪化)の5段階設定

全症例(70症例)



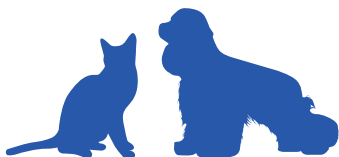
今回のアンケートでは悪化した症例はみられなかった。
 全体のうち、「改善」「やや改善」の割合を改善率

犬種別改善率

犬種別頭数	改善	やや改善	変化無し	改善率
ポメラニアン	12	11	12	66%
Mダックス	2	2	1	80%
チワワ	1	1	1	67%
パピオン	1		2	33%
ヨークシャテリア		1	1	50%
シーズー	2			100%
トイプードル	1	1		100%
柴	1	1		100%
シェルティー	1	1		100%
ビーグル		1		100%
フレンチブル		1		100%
ポストンテリア	1			100%
ミニピン	1			100%
雑種	1	1	2	50%
不明		1	2	33%
計	24	22	21	69%

(やや悪化・悪化は省略)

ポメラニアン以外、数は少ないが、様々な犬種で効果が確認されている。



効果判定 (改善・やや改善・変化無し・やや悪化・悪化)の5段階設定

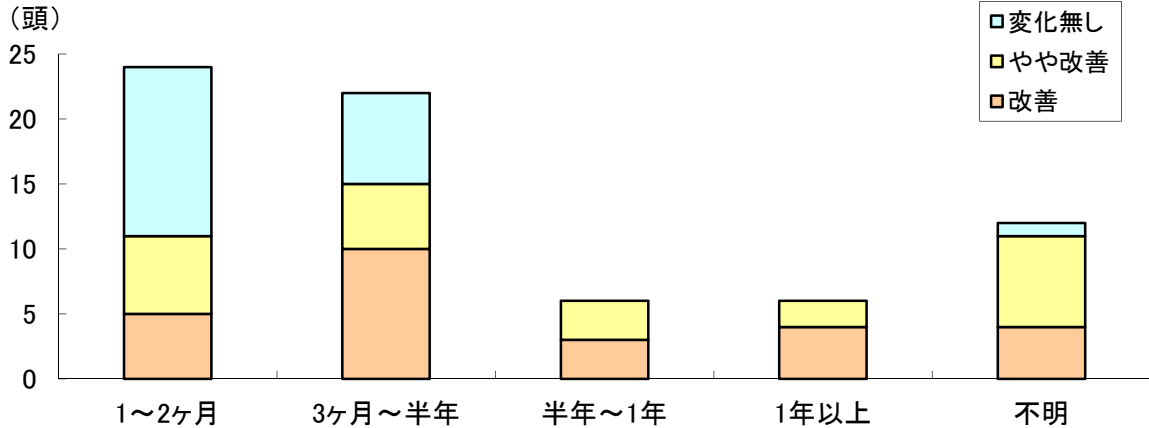
給与期間別

期間別頭数	改善	やや改善	変化無し	改善率
1~2ヶ月	5	6	13	46%
3ヶ月~半年	10	5	7	68%
半年~1年	3	3		100%
1年以上	4	2		100%
不明	4	7	1	92%

(やや悪化・悪化は省略)

1~2ヶ月という短期間の給与よりも、ある程度長期間の給与の方が改善率は高い結果となった。

半年以上給与しているのは、効果があったために継続しているとも考えられる。

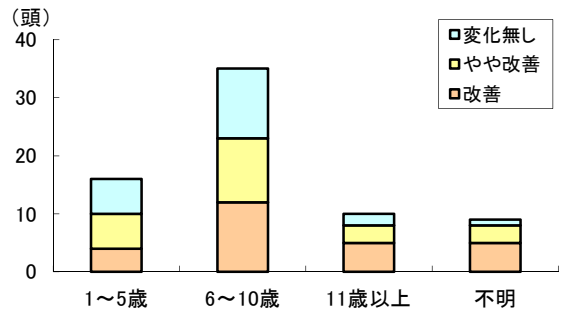


症状別

症状別頭数	改善	やや改善	変化無し	改善率
アロペシアX	6	8	6	70%
クッシング様	1	1	1	67%
甲状腺機能低下	1	1	1	67%
アトピー	1	2	2	60%
パターン脱毛	1			100%
無菌性脂肪織炎		1		100%
ソマトロピン欠乏	1			100%
脂漏症様		1		100%
免疫低下		1		100%
その他脱毛	15	8	11	68%

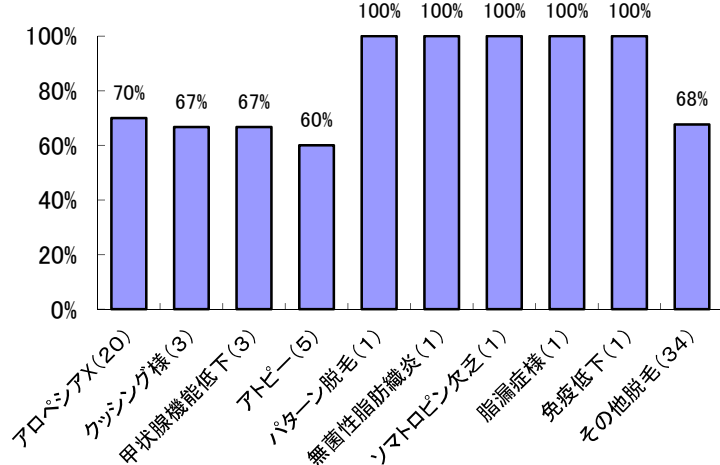
(やや悪化・悪化は省略)

年齢別

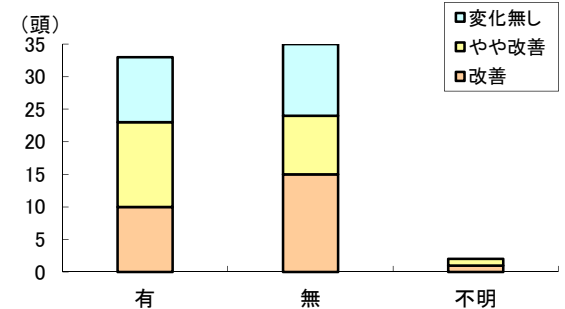


頭数は6~10歳の層が一番多いが、改善率では11歳以上の層で80%と高くなっている。

症状別改善率



併用薬の有無



併用薬の有無による違いはみられなかった。

症状は多様であるが、使用目的はほとんどが発毛である。アトピーのうち2例が炎症緩和目的(→やや改善)、免疫低下の

アンケートにご協力いただいた先生方にお礼申し上げますと共に、今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。